

沖縄と共に日米同盟堅持の声を上げよう

～このままでは日米同盟が破綻してしまおう～

2010年5月2日（土）13時～ 文京シビックホール

田久保忠衛 先生

日米安全保障条約が大切
小さな事で足の引っ張り合いをするのは間違っている

ユーラシア大陸の目の前に第一列島線
日本人がしっかり考えなければならない

冷戦が集結したというが
数年以内に朝鮮半島で何かが起こる
台湾は馬政権が続くが民主主義体制を取っている
付き合い方のケジメがついていない

核の密約について岡田外相が追及している事に何の意味があるのか？
学者レベルでやれば良い事
鳩山政権時代には核を持って来るなというメッセージを出している
ユーラシア大陸に対する核抑止力が働かない

中国は日本の防衛費の2、3倍の軍事大国になっている
先日宮古、沖縄本島の間を通過して軍事演習を堂々として海上自衛隊を威嚇した
米軍も中国を脅威に感じ無言の力となって外交力発言力がついてきた
ほとんどの国会議員がその事を理解していない

脅威には二つの要素がある
能力、意図

民主党は前原氏が以前中国の軍備増強が脅威と言ったら党内で叩かれた

キーストンオブザパシフィック

ユーラシア大陸の脅威から守れない政策を政府と沖縄がやっている

米国の政策は

激動する国際情勢の中、中国に対してエンゲージメント政策をしている

世界の中に取り込む政策だが、矛盾がたくさん出ている

ヘッジング、自分の国を強化する事と同盟国関係を強化する事が必要である

一人でもいいから立ち上がるべきだと思う

大局を考えて行動するべきだ

日米は仲良くすべきである

沖縄からの報告

▼4月4日救国集会の様態をユーチューブにアップしている

日本の善意は国際社会で通用しない

中国海軍も日本の出方を見ている

県民を騙すマスコミは許さないとシュプレヒコール

中国に都合の良い報道しかしない

一党独裁国家中国を許さない

与那国島に自衛隊を配備しろ

沖縄の米軍基地の県外移設がすべての沖縄県民の総意ではない

チベット、ウイグルのようになってはならない

中国の脅威を伝えようとしな

沖縄の自由と平和を守ろう

尖閣諸島を守ろう

沖縄を無防備にするな

とデモ行進をやった

沖縄のために日本のためにやる事がある

建国2670年最大の危機である

日米同盟堅持デモ行進を本当は一緒に歩きたいと思う人はたくさんいる

が左翼的なマスコミ報道のせいのためらっている

現地報告

仲村俊子様 88歳

二つの願いがあったので沖縄から来た

4月4日の集会への御礼
本土の人達への願いがあつて来た

自分たちは漢民族ではない
日米同盟が危なくなってきた

沖縄だけでなく日本全国が危ない

絶対にデモをやりたいと思った
県議会も那覇市議会も県外国外へと決議した事もきっかけとなった

デモ集会が無事に出来た本土から同志の20名近くが来てくださった
本土の方の方が熱い思いがあつたのは勇気を与えてくれた御礼申し上げる

デモの後に参加してよかったとの声がたくさん上がった
「涙が出た」
ウイグルのイリハムさんのDVDが欲しいとの声も上がった（中国の本当の怖さを伝える
事はとても良い資料）
知事を始め多くの人達にDVDを送った

親しくしている市議会議員にどうして保守系議員の多い那覇市議会でも県外、国外移設と決議したのか教えて欲しいと連絡した

↓

政治家がこれ位無知になってきた事が腹立たしく思った

43年前、沖縄を日本革命の基地にしようと張り紙が貼っていた

↓

工作活動、洗脳教育が沖縄でされていたのは間違いない

朝鮮動乱時、北朝鮮からの平和攻勢は基地があるから戦争になるという理屈で騙し、韓国は本当に基地を撤去をしたら北朝鮮がソ連製の戦車で攻撃してきた

全国の皆さんに力を貸して欲しい
沖縄の平和なくして日本の平和はない

崎浜秀昭様 沖縄 J S N

4月4日に集会をやった
沖縄県議会 全会一致で県外、国外移転に賛成した事にショックを受け集会を決行！

沖縄のメディアは一色である
賛否両論を伝える事は全くない
メディア空気をつくり沖縄県議会が迎合した
当日、中国の脅威を伝えるビラを撒いたがあまりわかっていなかった
真実を知らされるべきだと思う
基地交付金で利権を得た人もいるので断りきれないで県外、国外集会に来た人も結構いた

沖縄県民は戦時中、軍民一体となって戦ったので、全然かわいそうではない

沖縄では相変わらず、軍命令によって集団自決させられたと嘘を教えている

教育界を正していくには、私塾をもっとつくりやすい環境が必要

↓

日教組教育を粉砕する

J S N 浦浜一弘様

4月4日の集会は沖縄から勇気をあげて声を上げた結果

4月25日には10万人集会の裏で中山成彬先生
保守が崩壊して訴える所がない知事選に出馬すると言う若者が居た

日本を愛し国を愛し家族を愛し続ける

海外から日本の報道を照らして欲しい

沖縄は決して中国の属国になる事を望まない人間がいる事をネットを通じて伝えて欲しい

ネットの映像等を見せた所、米軍施設で働いている日本人も60人賛同してくれた

国防とは一体何なのかしっかり考えるべき時、そしてその重要性を知らせる声を上げるべき時である

本土の方々も共に戦っていただきたい
我々も地元に戻ってさらに頑張るつもりである

J S N 仲村覚 代表

集団自決軍命令があったという11万5千人集会で沖縄のプロパガンダが日本を滅ぼす力を持っていた

↓

脅威を感じてJ S Nを立ち上げた

今も中国海軍という黒船が来ている！

工作活動を今でもやっている

安保破棄メールニュースの住所は東京が拠点

↓

沖縄県民大会に本土の安保から300人超が参加
とビラを撒いている

↓

東京の左翼組織が命令を出している

中国の主な沖縄侵略活動が行われている

直接侵略、間接侵略

南西諸島で潜水艦2隻を含む中国艦隊10隻が航行
(直接侵略)

沖縄県民大会 10 万人集会、普天間基地包囲行動
(間接侵略)

↓

安保改定 50 年 6・4 集会 (東京) 予定

日米安保が破棄されたら中国に侵略され沖縄は終わり

もっとしっかりとした安保堅持組織でもつくらなければならない!

第二部

祝電披露

平沼赳夫先生

山谷えり子先生

牧原ひでき前衆議院議員

古賀俊昭都議会議員

平成 9 年に宮古湾からせんかく列島上陸を目指し西村慎吾代議士と行ったが巡視船に止められ引き返した

宮古島の方々と仲良くなった

曾野綾子さんが調査しとっくの昔に軍命令説を否定したのに未だ引きずっている

領土問題は尖閣だけでなく日本そのものが危ないという危機感を持つべきである

中国の沖の鳥島は岩であるという屁理屈に対抗出来ていないのは、自衛隊を使ってでも排除するという国家の意志がないので抑止力が働いていない

沖縄は地勢学的にも絶妙な位置にある

私たちは大東亜戦争の沖縄地上戦の軍人や県民の奮戦をしっかりと教えていない

↓

軍がいたから戦争になったと教えている

沖縄の問題は自分自身の問題である

場合によってはやるぞというのが国家である

皇室の危機もある

選挙でネパールが王政が廃止された

タイでも同じ事をやっている

↓

華僑であるタクシンが先導して王政を廃止しようとしている

↓

やがて日本にもこうした動きがやってくる

沖縄に 74%の米軍基地が集中→実際は 24.9%

一部使用地域（三沢、厚木、岩国基地は日米共用のために含まれず）

言葉のマジックをマスコミは使う

実は沖縄は日本一の埋め立て県である

↓

今まで文句を言ってこなかった

占有基地だけでなく

一時使用基地を含めると 22.7%

国民全体がマスコミの印象操作の数字に騙されている

二瓶文隆 中央区議会議員

都会に住んでいる我々は国境の島、防人の島に感謝しなければならない

沖縄はしっかりと守らなければならない

なぜなら日本人だから

与那国島に行って観光客を装って聞くと自衛隊に来て欲しいとおっしゃっていた

島で重要な急病が出た場合現在は飛行機を呼んだりするのも防空識別圏の問題もあって困

難

↓

それだけに自衛隊誘致の世論が多かった

我々も自費で中国の脅威を感じれば与那国島に日帰りで行けるので、国会議員にももっと行って欲しい

自民党を離島し創新党に入党したが、自立国家目指す理念に共鳴した為である

中国が堂々と艦隊が通過している事を許してはならない

友愛の海では解決出来ない！

吉田あい 杉並区議会議員

連日マスコミの報道を見ていると米軍基地がいらぬという沖縄の声が報道されている

感情的にはわかるが、日米同盟は
大切である

沖縄の平和なくして日本の平和はない

マスコミ報道は一部の偏った意見しか報道していない事が本日わかったので、今後はそれはそうした真実をこちらで伝えていきたい

■活動計画について

5月、6月、戦いの正念場
活動の拠点を本土から沖縄、石垣に移していきたい

尖閣、与那国、石垣が危ない

与那国の町議会のご理解と応援をいただき、石垣島でせんかくを守る運動をしていきたい

東京からも熱い応援もいただきたい

尖閣諸島の日を4月4日として広げていきたい

沖縄の現状について仲村会長がどこでも訪れて説明する

署名運動の活動を手伝っていただきたい

沖縄でデモをやっているなら同じ日にデモをやるなどの活動をやっていきたい

閉会の言葉 仲村俊子 様

今後沖縄に帰って同志の仲間を増やしていきたい

今日お集まりのみなさまは日本の宝です

日本の国に生まれて良かったと思って一生を終わっていきたいと思う

ともに頑張りましょう！